

新潟県にも存在します

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

新潟県にも
ウイルスが
存在します



重症熱性血小板減少症候群とは

- ✓ 2013年1月に日本国内で人の初発例が報告されたウイルスによる疾病
- ✓ 人が感染すると、発熱や嘔吐、下痢、頭痛、筋肉痛、神経症状などが現れ、重症例では血液凝固不全や多臓器不全となり死亡する例もみられる
- ✓ シカやイノシシなど多くの野生動物やその血液を吸うマダニがウイルスを保有
- ✓ ウイルスを保有するマダニが人や動物を吸血することで感染
- ✓ 感染者は西日本に多く、2024年10月までに1,050人の感染者（うち死亡例115人）が報告されている
- ✓ **2023年に新潟県内のイノシシの血液からSFTSウイルスが検出された**



森や草やぶに入る時にはダニの対策をしましょう！

- 草むらや森に入る時には肌の露出を避け長袖長ズボンを着用する
- 虫よけスプレーを使用する
- 犬猫には動物病院でダニの予防薬を処方してもらう